

1 - (7) 京都の文化財を震災等から守るための総合的な対策 (内閣府・消防庁・文化庁・林野庁・国土交通省)

2030 年代に発生が懸念される南海・東南海地震に向け、近畿内陸の活断層が活動期にある今日、本市の災害に対し脆弱な都市構造、活断層の多い地震環境を踏まえると、文化財の震災対策は喫緊の課題であります。

国においても、昨年 7 月には、内閣府で「地震災害から文化遺産と地域をまもる対策のあり方」が取りまとめられ、上水道の断水等の震災時の事態を想定し、文化財とその周辺地域を一体として、面的な延焼の防止対策に取り組む必要があることや、清水寺・産寧坂地域での防災水利整備のパイロットプランが提案されました。更に、平成 16 年度には、国土交通省の全国都市再生モデル調査で、パイロットプランの基本的な計画が取りまとめられるとともに、本年 3 月には、第 6 次都市再生プロジェクトの「琵琶湖・淀川流域圏の再生計画」においても、古都における環境防災水利の導入を清水地域等において進めることが示されるなど、取組の進捗が図られて参りました。

また、文化財建造物の倒壊防止や仏像等の転倒防止についても、文化財建造物等の耐震化・免震化を更に促進する必要があります。更に、倒壊した文化財建築物の部材の一時保管場所の確保、美術工芸品等の保管対策や盗難防止対策も喫緊の課題であり、文化財の復旧、歴史資料の整理等に全国的な体制構築が必要となります。

加えて、平常時の文化財に対する防火対策も重要であり、特に、伝統的建造物群保存地区における住宅等への防災機器の設置、消防施設の整備、ソフト面で活躍が期待される文化財市民レスキュー体制への資機材整備等について充実を図る必要があります。

これらのことから、京都の文化財を地震、火災等の災害から守るための総合的な対策として、次のとおり提案・要望します。

提案・要望事項

- 1 文化財を震災から守るための総合的な文化財震災対策
 - (1) 震災時の火災の延焼拡大を防止し、文化財とその周辺地域を一体として防護する対策のモデルとして、清水地域における防災水利整備への特別な財政措置の創設及び水源確保等に係る支援
 - (2) 文化財建造物の倒壊防止対策及び仏像等の転倒防止対策に係る費用全額を補助対象とすることによる耐震化及び免震化の促進
 - (3) 被災文化財を一時的に保管する場の確保及び歴史的資料等救出のための専門家からなる全国的なネットワークの構築
- 2 文化財に対する火災予防対策の推進
 - (1) 伝統的建造物群保存地区における住宅等への防災機器の設置に伴う補助制度の拡充
 - (2) 火災から文化財を守るため、消防施設の整備に係る財政措置の充実
 - (3) 文化財市民レスキューの資機材整備に対する財政措置及び訓練時に負傷等した場合の損害補償制度の創設
- 3 文化財防災施設整備費の国庫補助金の補助率の引上げ

主な要望先：内閣府（防災担当政策統括官，統括担当参事官，地震・火山対策担当参事官）
消防庁（予防課，消防・救急課，防災課，防災課応急対策室）
文化庁（文化財部伝統文化課，参事官（建造物担当））
林野庁（国有林野部業務課）
国土交通省（都市・地域整備局まちづくり推進課都市防災対策室，都市計画課，
街路課，公園緑地課，河川局河川計画課，防災課，住宅局建築指導
課建築物防災対策室，道路局国道・防災課道路防災対策室）
京都市の担当課：文化市民局 文化部 文化財保護課長 石崎了 TEL075-222-4112
都市計画局 都市景観部 都市景観課長 寺本健三 TEL075-222-3473
消防局 予防部 予防課長 山村忠樹 TEL075-212-6671
消防局 防災危機管理室 防災課長 川崎隆司 TEL075-212-6791

< 京都市の取組・現状 >

○京都市の文化財の状況（平成 17 年 4 月 1 日現在）

- ・国宝（建造物，美術工芸品） 211 件（全国比 19.7%）
- ・重要文化財（建造物，美術工芸品） 1,801 件（全国比 14.5%）
- ・特別記念物（史跡，名勝，天然記念物） 12 件（全国比 7.5%）
- ・国登録，府・市指定・登録文化財（建造物，美術工芸品） 572 件
- ・世界文化遺産 14 社寺・城（賀茂別雷神社，賀茂御祖神社，教王護国寺，清水寺，醍醐寺，仁和寺，高山寺，西芳寺，天龍寺，鹿苑寺，慈照寺，龍安寺，本願寺，二条城）
- ・伝統的建造物群保存地区 4 地区（産寧坂地区，祇園新橋地区，嵯峨鳥居本地区，上賀茂地区）

○花折断層を震源とする地震被害想定

- ・文化財の被害（建造物，地区）

震度階別の文化財所在件数

分類	震度（弱→強）				
	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7
国 宝	0	3	1	34	2
重 要 文 化 財	2	13	11	121	11
国登録，京都府・京都市指定文化財	1	19	17	173	22
重要伝統的建造物群保存地区	1	0	0	2	1
世 界 遺 産	0	6	0	8	0

出火危険度ランク別の文化財所在件数

分類	出火危険度ランク(低→高)				
	A	B	C	D	E
国 宝	11	3	16	4	6
重 要 文 化 財	46	27	49	24	12
国登録，京都府・京都市指定文化財	60	30	29	55	58
重要伝統的建造物群保存地区	2	0	1	1	0
世 界 遺 産	7	1	4	1	1

出火危険度は単位面積当たりの出火件数（件 / km^2 ）を表す。

A：0.25 未満，B：0.25 以上～0.50 未満，C：0.50 以上～0.75 未満，D：0.75 以上～1.00 未満，E：1.00 以上

○ 清水寺・産寧坂周辺地域図

（文化財とその周辺地域を一体として防護する対策のモデル地域）

